

2026年3月期 決算説明

2026年5月18日

株式会社エヌアイデイ

(証券コード：2349)

1. 2026年3月期連結決算概要
2. 2027年3月期通期連結業績見通し
3. トピックス
4. 株主還元

この資料に掲載しております当社の計画及び予想、戦略などは、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後の日本経済や情報処理業界の動向、新たなサービスや技術の進展、不確定要素などにより、実際の業績とは大きく異なる可能性がございます。あらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

1. 2026年3月期連結決算概要

2. 2027年3月期通期連結業績見通し

3. トピックス

4. 株主還元

連結損益計算書

(単位：百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	2026年3月期 実績	前期比	予想比
売上高	24,968	25,000	26,428	+5.8%	+5.7%
営業利益	3,077	3,100	3,372	+9.6%	+8.8%
営業利益率	12.3%	12.4%	12.8%	+0.4pt	+0.4pt
経常利益	3,403	3,340	3,608	+6.0%	+8.0%
経常利益率	13.6%	13.4%	13.7%	+0.0pt	+0.3pt
当期純利益	2,367	2,270	2,502	+5.7%	+10.2%
当期純利益率	9.5%	9.1%	9.5%	△0.0pt	+0.4pt

セグメント別売上高

その他事業

エヌアイデイ/NID・MI/NID air

2026年3月期
売上高

1,874百万円

- データソリューション分野
- 人材派遣分野
- プロダクト分野

システムマネジメント事業

エヌアイデイ

2026年3月期
売上高

6,056百万円

- 運輸・通信分野
- 金融・保険分野
- 官公庁・団体分野
- 建築・製造分野
- 卸売・小売分野
- その他分野

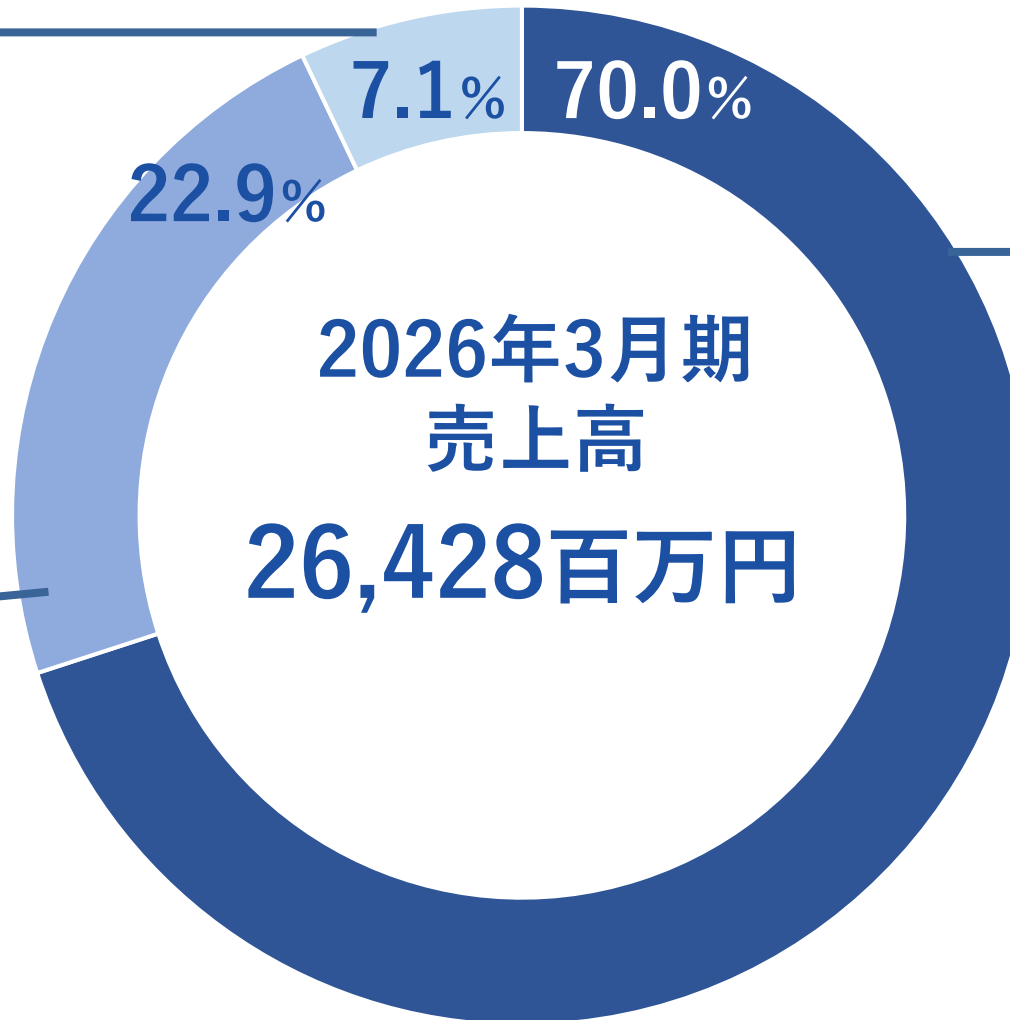
システム開発事業

エヌアイデイ/NID・MI/
NID東北/テニック

2026年3月期
売上高

18,497百万円

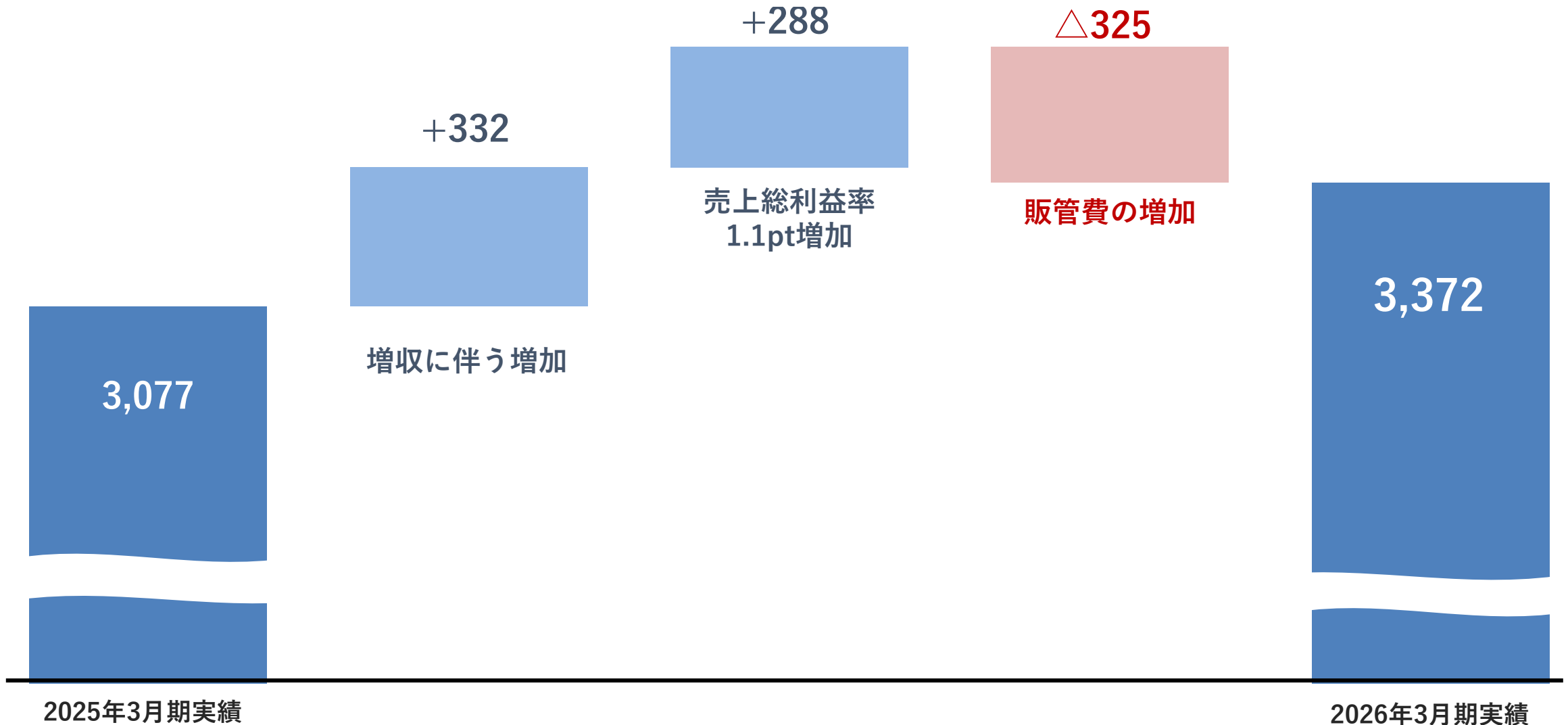
- 金融分野
- 情報・通信分野
- 公共・社会インフラ分野
- カーエレクトロニクス分野
- FA・装置制御分野
- 官公庁・その他分野



営業利益差異分析（前期比）

（単位：百万円）

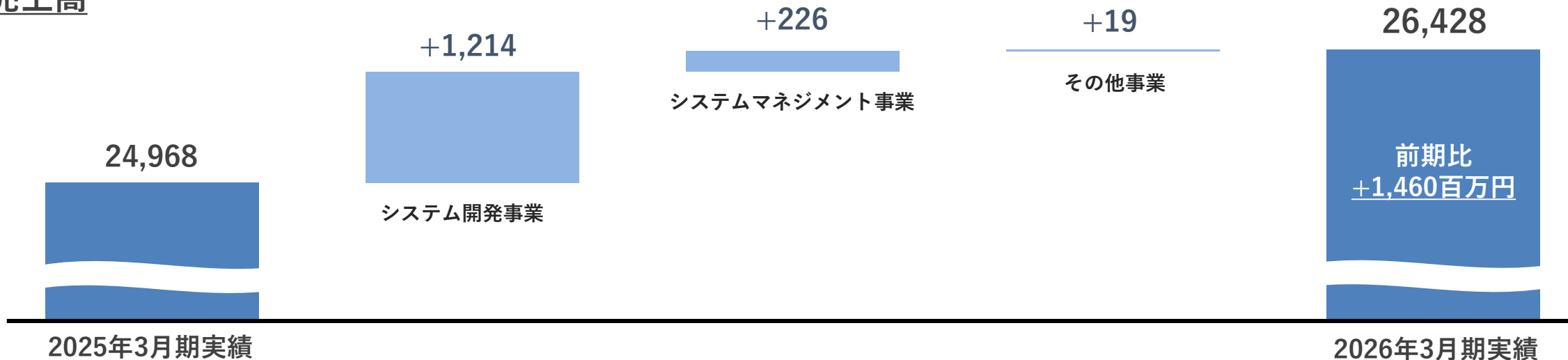
●営業利益は前年同期比+295百万円



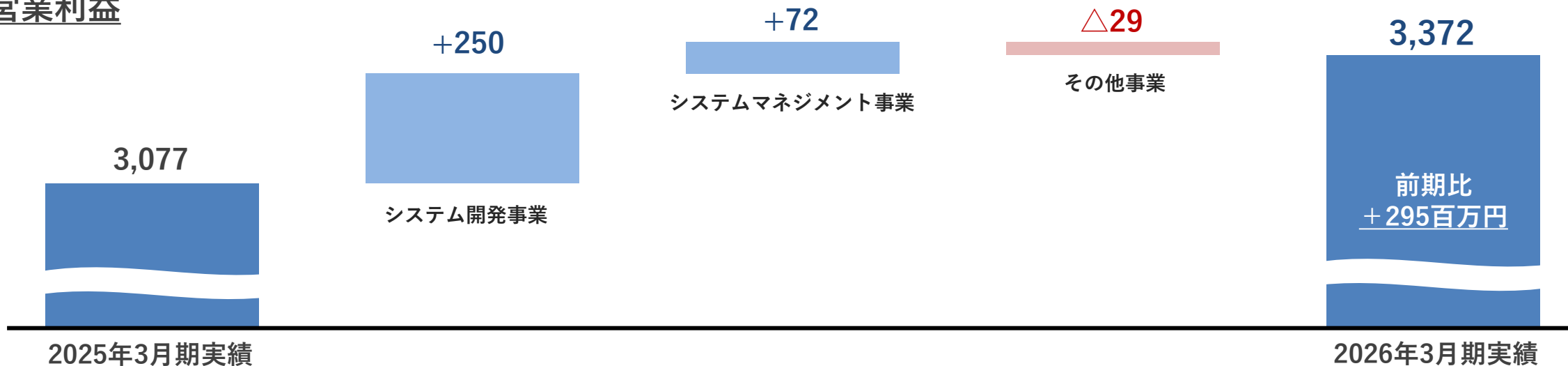
売上高・営業利益のセグメント別（前期比）

（単位：百万円）

■売上高



■営業利益



セグメント別売上・利益構成

(単位：百万円)

	2025年3月期 実績			2026年3月期 実績			前期比		
	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益	営業 利益率
システム 開発事業	17,282	2,263	13.1%	18,497	2,514	13.6%	+7.0%	+11.1%	+0.5pt
システム マネジメント事業	5,829	602	10.3%	6,056	674	11.1%	+3.9%	+12.1%	+0.8pt
その他事業	1,855	206	11.1%	1,874	176	9.4%	+1.0%	△14.3%	△1.7pt
連結計	24,968	3,077	12.3%	26,428	3,372	12.8%	+5.8%	+9.6%	+0.4pt

システム開発事業

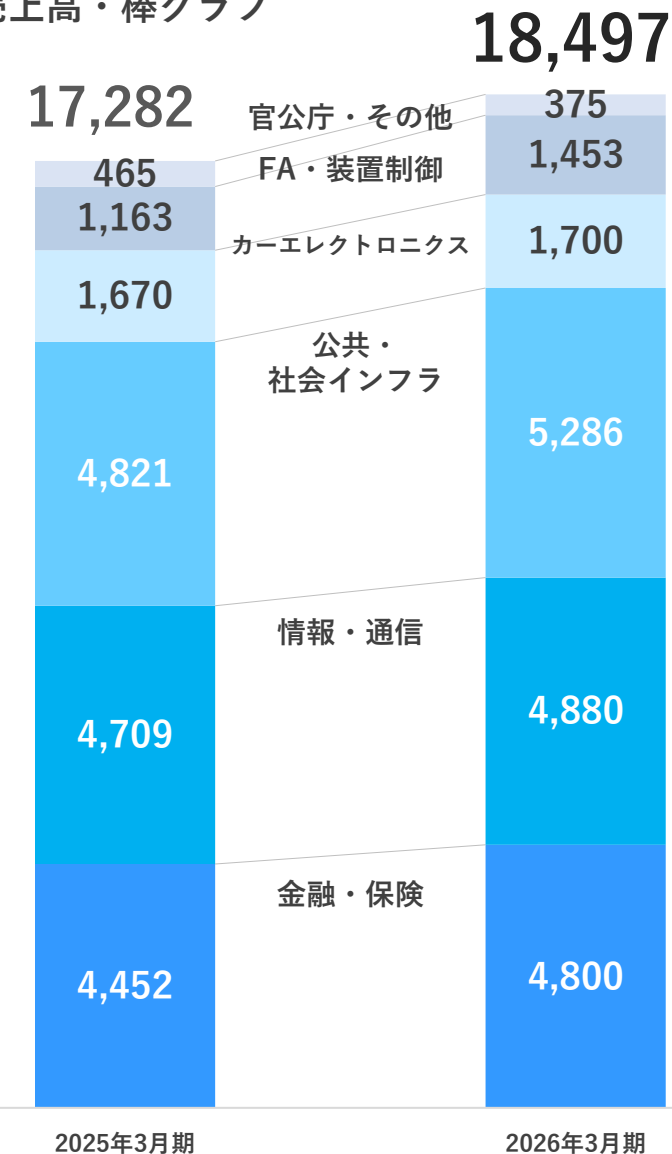
■売上高・営業利益

	2025年 3月期	2026年 3月期	前期比	要因
売上高	17,282	18,497	+ 7.0%	売上高の増加に加え、採算性の改善等により増収増益
営業利益 (営業利益率)	2,263 (13.1%)	2,514 (13.6%)	+ 11.1%	

■分野別売上高

金融・保険	4,452	4,800	+ 7.8%	生保・共済系が好調に推移
情報・通信	4,709	4,880	+ 3.6%	高性能カメラ開発分野で受注が増加
公共・ 社会インフラ	4,821	5,286	+ 9.7%	電力系、無線関連、防衛関連が好調に推移
カーエレクトロニクス	1,670	1,700	+ 1.8%	主要顧客からの受注が堅調に推移
FA・装置制御	1,163	1,453	+ 25.0%	スマートキー関連が好調に推移
官公庁・その他	465	375	△ 19.2%	テスト工程の受注が減少

■売上高・棒グラフ



(単位：百万円)

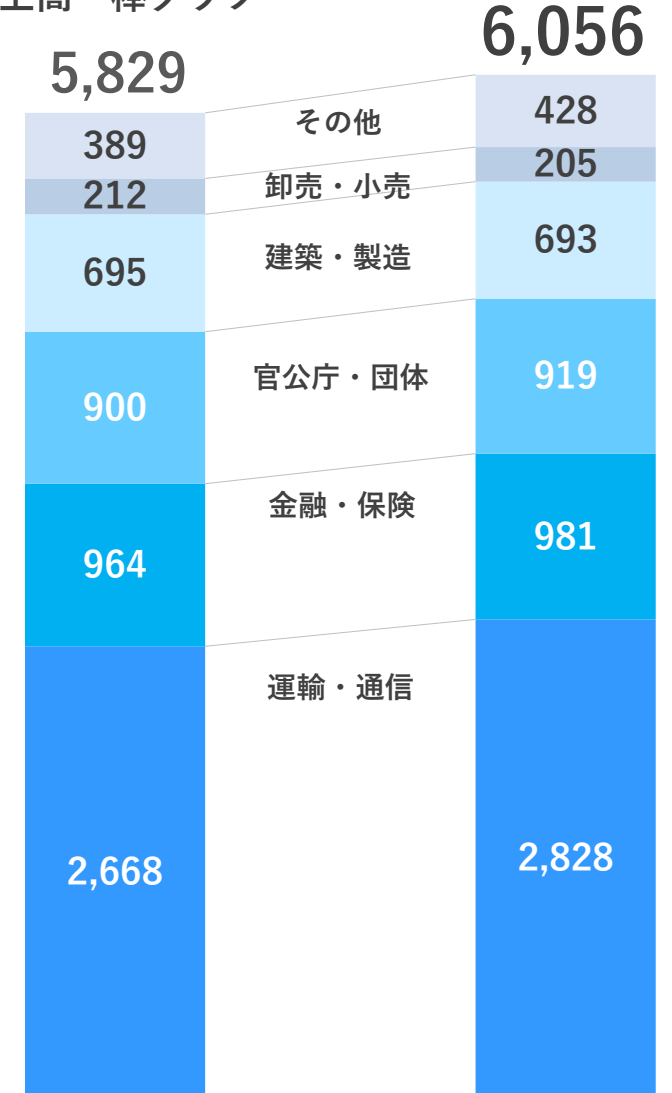
■売上高・営業利益

	2025年 3月期	2026年 3月期	前期比	要因
売上高	5,829	6,056	+ 3.9%	新規案件獲得による売上高の増加に加え、採算性の改善等により増収増益
営業利益 (営業利益率)	602 (10.3%)	674 (11.1%)	+ 12.1%	

■分野別売上高

運輸・通信	2,668	2,828	+ 6.0%	主要顧客の受注が増加
金融・保険	964	981	+ 1.8%	構築系案件が堅調に推移
官公庁・団体	900	919	+ 2.1%	運用体制再構築案件の受注が堅調
建築・製造	695	693	△ 0.3%	—
卸売・小売	212	205	△ 3.0%	出版関連が縮小
その他	389	428	+ 10.1%	運用支援業務が好調に推移

■売上高・棒グラフ



2025年3月期

2026年3月期

その他事業

(単位：百万円)

■売上高・営業利益

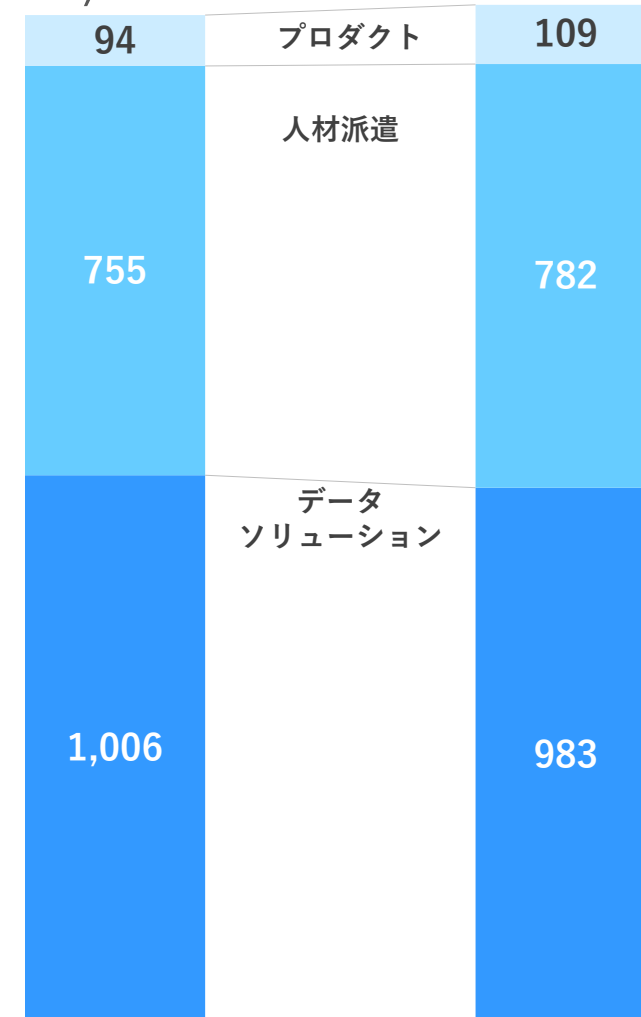
	2025年 3月期	2026年 3月期	前期比	要因
売上高	1,855	1,874	+1.0%	売上高は増加したものの、一部案件の収益性が低下した結果、増収減益
営業利益 (営業利益率)	206 (11.1%)	176 (9.4%)	△14.3%	

■分野別売上高

データソリューション	1,006	983	△ 2.3%	既存案件の受注減を新規案件獲得でカバーできず減少
人材派遣	755	782	+ 3.6%	補助金審査業務案件で増員により増加
プロダクト	94	109	+ 16.2%	会計システム穂多瑠（ほたる）の新規導入が増加

■売上高・棒グラフ

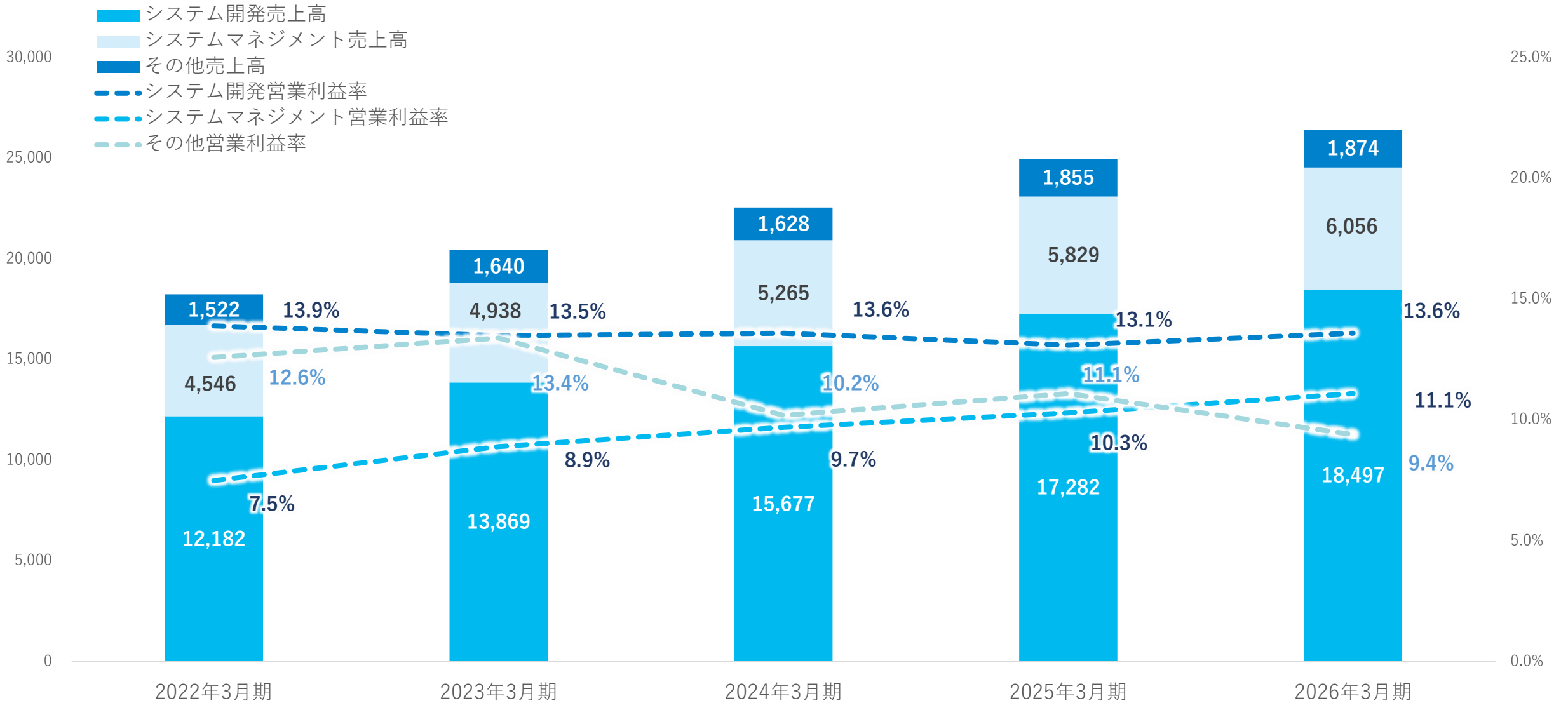
1,855 1,874



2025年3月期

2026年3月期

セグメント別売上高・営業利益率推移



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	増減額	主な増減要因
流動資産	20,769	22,853	+ 2,084	現金及び預金 + 1,922 売掛金 + 88
固定資産	7,464	7,870	+ 406	仕掛品 △39 有形固定資産 + 93
資産合計	28,233	30,723	+ 2,490	投資有価証券 + 605 繰延税金資産 △258
流動負債	3,492	3,459	△ 33	買掛金 + 60 賞与引当金 + 56
固定負債	3,210	2,986	△ 224	受注損失引当金 △98 退職給付に係る負債 △267 役員退職慰労引当金 △35
負債合計	6,703	6,445	△ 257	利益剰余金 + 2,196 その他有価証券評価差額金 + 430
純資産合計	21,529	24,277	+ 2,748	退職給付に係る調整累計額 + 121 配当金の支払 △306
負債純資産合計	28,233	30,723	+ 2,490	

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	主な要因
営業活動によるCF	2,768	2,506	税金等調整前当期純利益 + 3,555 売上債権の増加額 △135 法人税等の支払額 △1,055
投資活動によるCF	△506	△376	投資有価証券の取得による支出 △261 投資有価証券の売却及び償還による収入 +202 有形固定資産の取得による支出 △172
財務活動によるCF	△302	△308	配当金の支払額 △306
現金及び現金同等物の増減額	1,959	1,821	
現金及び現金同等物の期末残高	15,489	17,311	

1. 2026年3月期連結決算概要
- 2. 2027年3月期通期連結業績見通し**
3. トピックス
4. 株主還元

国内経済

●大企業業況判断DI

大企業製造業の業況判断DIは、前回12月調査から1ポイント改善のプラス17。一方で、中東情勢の緊迫化の影響により石油・石炭製品、化学などが悪化。全体では横ばいとなった。大企業非製造業の業況判断DIは、前回12月調査から横ばいのプラス36。サービス業は好調に推移も、燃料コストの増加が懸念される運輸、電気・ガスなどが悪化し、全体では横ばいとなった。

(日銀短観2026年3月調査より)

国内IT市場

●2026年以降国内ITサービス市場見通し

2025年は、データ・AI活用の環境整備や既存システムのITモダナイゼーション向けの支出拡大により、前年比7.3%増の7兆5,663億円規模に成長。今後5年間の年平均成長率は6.2%を見込み、2030年には約10兆2,541億円に達すると予想される。

(IDC Japan 2026年3月発表)

当社への影響

●システム開発事業は堅調に推移も、外部要因により一部業種に不透明感

金融分野は堅調に推移するものの、業種により中東情勢悪化の影響を受ける可能性も。

それに伴う全世界的な景気減速などにより、不透明感はこれまで以上に強まるものと見込む。

●システムマネジメント事業は堅調に推移も、海外経済減速の影響を懸念

一部主要顧客のシステム投資は堅調に推移するが、中東情勢悪化の影響を懸念。

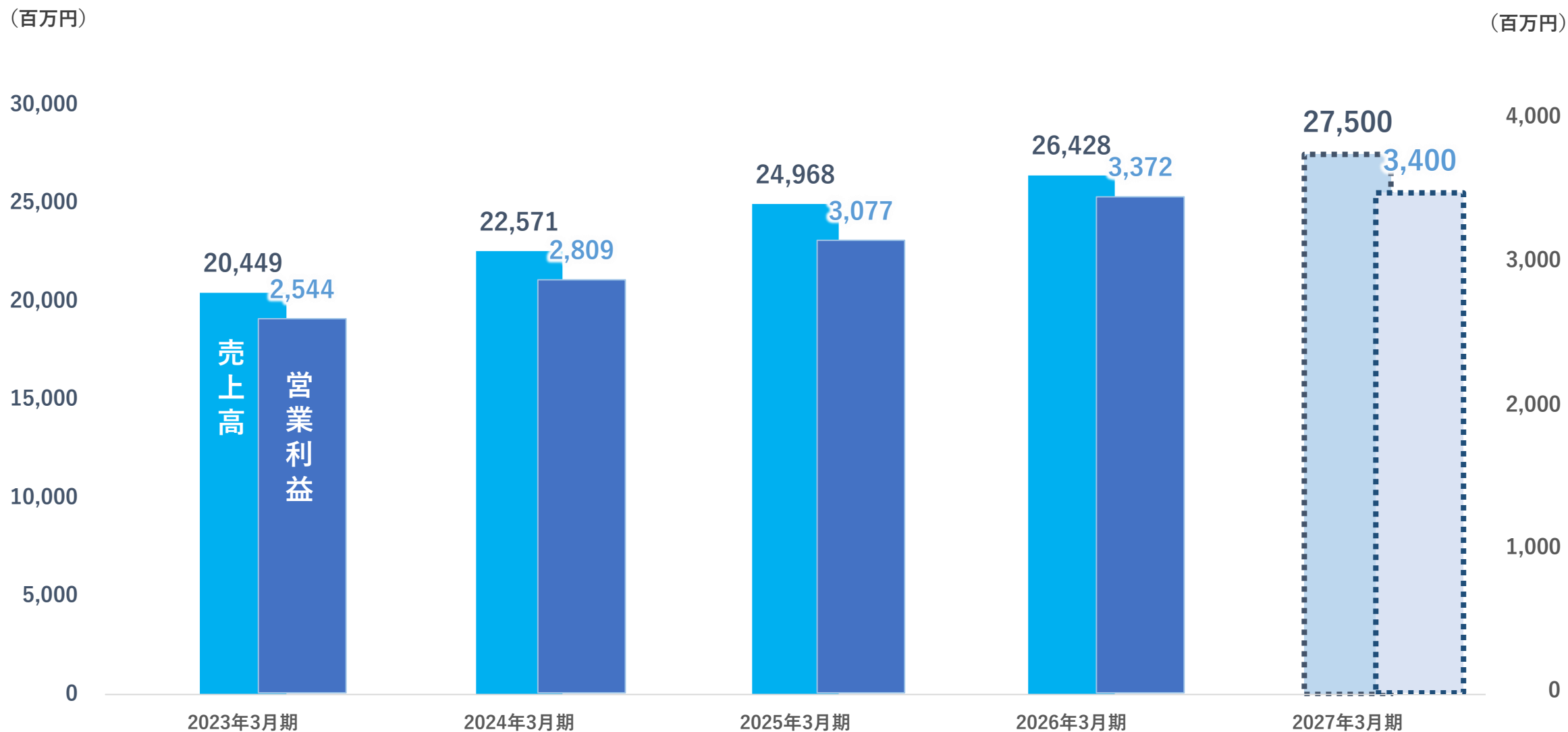
●その他事業は既存顧客の深堀り、新規開拓営業を強化し、受注増を目指す

2027年3月期通期連結業績見通し

(単位：百万円)

	2026年3月期 実績	2027年3月期 通期予想	前期比	
売上高	26,428	27,500	+1,071	+4.1%
営業利益	3,372	3,400	+27	+0.8%
経常利益	3,608	3,620	+11	+0.3%
当期純利益	2,502	2,520	+17	+0.7%

2027年3月期通期連結業績見通し（5年推移）

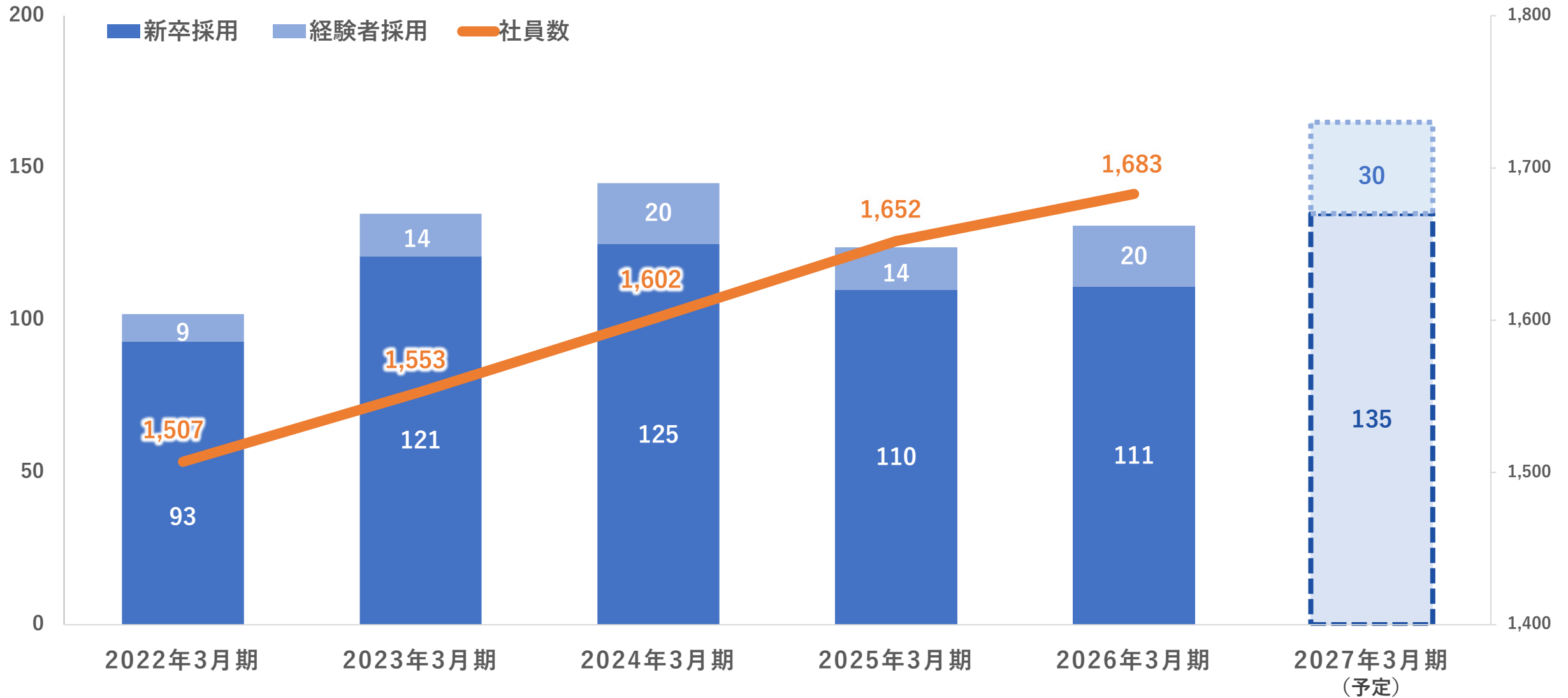


2027年3月期通期連結業績見通し（セグメント別）

（単位：百万円）

	2026年3月期 実績		2027年3月期 通期予想		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
システム開発事業	18,497	2,514	19,310	2,530	+812	+15
システム マネジメント事業	6,056	674	6,280	690	+223	+15
その他事業	1,874	176	1,910	180	+35	+3
連結計	26,428	3,372	27,500	3,400	+1,071	+27

採用状況



1. 2026年3月期連結決算概要
2. 2027年3月期通期連結業績見通し
- 3. トピックス**
4. 株主還元

●SUNSET BEACH MAP

稲毛海浜公園の見どころである夕日を活用した集客力向上策として、AIで夕日の「美しさ」を数値化し、予測するSUNSET指数を提案・開発しました。イラストマップへとアップデートしたデジタルプラットフォーム **いまちず** と組み合わせ、SUNSET指数を起点とする集客・リピーター増に向けた施策をお客様とともに実施します。

公園の強み

夕日の美しさ

数値化により
可視化

SUNSET指数

SUNSETまでの
カウントダウン
表示

SUNSET指数の
スコアに応じた
クーポンを配信

タップで
施設の詳細・
混雑情報を表示

SUNSET指数

指数の
活用

公園の
魅力の再発見

当社はこれからも、ユニークな価値を持ちながらもその価値の活用に悩むエリアに対し、**いまちず**をはじめとするデジタル技術によってその魅力を分かりやすく伝える方法を提案してまいります。

NID・MIとNID東北が創立40周年を迎えました

NID・MI

2026年3月19日、ホテルニューオータニ幕張にて設立40周年祝賀会が開催されました。当日は千葉事業所・佐原事業所双方から社員が駆けつけ、総勢261名が出席しました。会場では豪華な料理を前に社員が大盛り上がり。祝賀会では、「この40年で培った誠実さと技術力を今後も大切にしながら、社員一丸となって千葉県内No.1のIT企業を目指しましょう」と更なる活躍が呼びかけられました。



NID東北

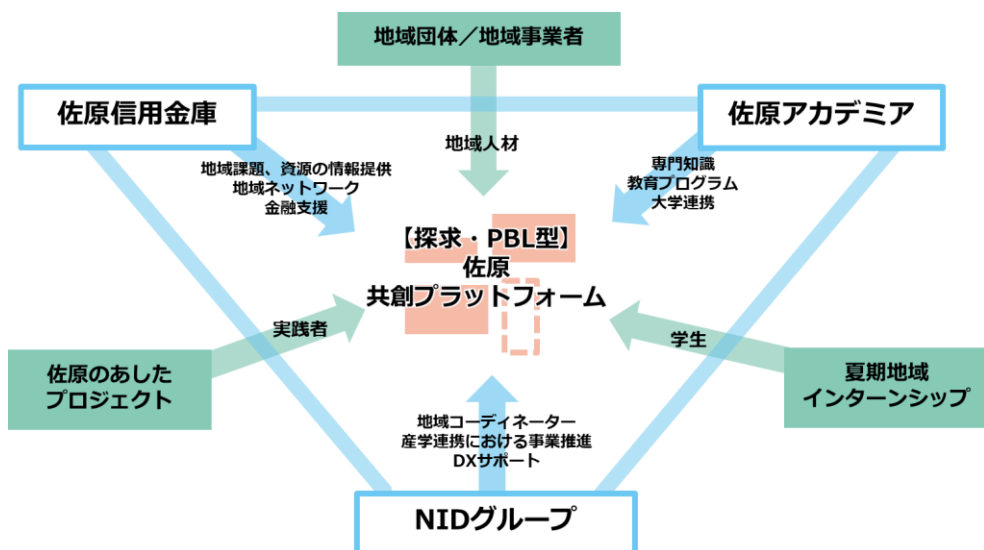
2025年10月31日、ウエスティンホテル仙台にて、設立40周年祝賀会が開催され、総勢124名が出席しました。会場では、スライドショーでNID東北40年の歩みを振り返るとともに、今後の展望として「立ち止まることなく、当社のコーポレートメッセージ『できるわけある』を持って前に進んでいきましょう」と更なる前進に向けて結束が呼びかけられ、参加した社員も盛大な拍手でそれに応えていました。



千葉県香取市佐原地域活性化に係る 包括的連携協定締結について

佐原共創プラットフォーム構築に向けた取り組み

特定非営利活動法人佐原アカデミア、佐原信用金庫と地域の課題解決及び持続的な活性化を目的とする連携協定を締結しました。3者の強みとネットワークを相互に活用し、産業振興、教育環境の整備、人材育成を開始します。2026年度は「佐原共創プラットフォーム」として、探究・PBL型共創モデルの構築を予定しています。



探究・PBL型共創モデル「佐原共創プラットフォーム」

慶應義塾大学との連携プロジェクト 佐原元気プロジェクト

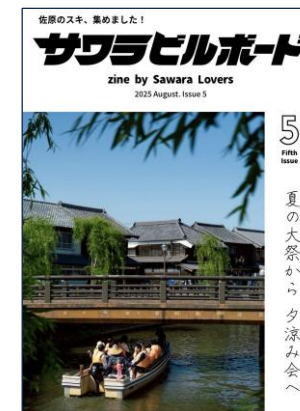
3年目を迎えた飯盛義徳研究室との取り組み

プラットフォーム「サワラビルボード」を活用し、佐原の魅力を発信・共有する活動が本格的に行われました。「サワラビルボード」では、インタビュー記事などを通して様々な視点から佐原に関する情報を発信。2025年度は合計40本の記事を公開しました。

また、より幅広い層へ情報を届けるため冊子(ZINE)を作成。香取市最大の複合施設コンパスや、地域の店舗などで配布しました。



「サワラビルボード」トップページ

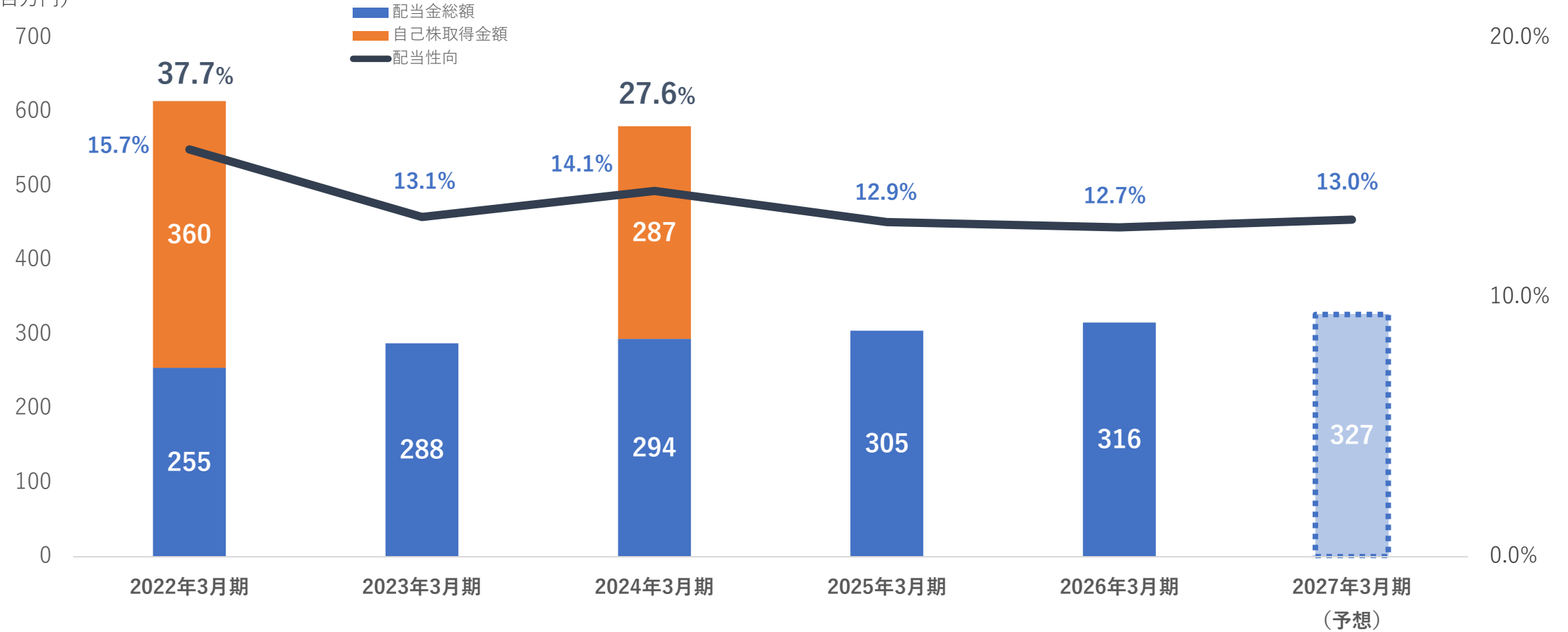


冊子(ZINE)版
「サワラビルボード」

1. 2026年3月期連結決算概要
2. 2027年3月期通期連結業績見通し
3. トピックス
- 4. 株主還元**

● 期末配当予想は 1 株あたり 30 円（6 年連続増配）を予想しています。

(百万円)



一株配当金	23円	26円	27円	28円	29円	30円
-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

ありがとうございました